



中越地震復旧事業を教訓に!! 他機関技術職員が現地研修会

～ 北陸地整がすすめる！現場見学ガイド ～

10月27日(火)に新潟市建設技術協会員42名、10月30日(金)に関東国道協会東京都地区協議会19名、11月5日(木)に秋田市建設技術協会28名の方々が国道291号中越地震の災害復旧事業箇所の現地研修会に来られました。平成16年新潟県中越地震時に長岡国道事務所は、国道291号の直轄権限代行災害復旧事業を担当し延長約10Kmの災害復旧にあたりました。

長岡国道事務所が担当した主な災害復旧事業は、竹沢隧道、山古志トンネル、新宇賀地橋及び小松倉大規模切土などがあります。

そこから山古志トンネルと新宇賀字橋での現地研修会を実施しました。研修内容は、被災状況と復旧対応の考え方、トンネル・橋梁の技術工法、施工時の工夫等の説明を行い、特にトンネル施工では、工期短縮を図るためトンネルと接続する橋梁との同時施工を行う作業杭設置を説明するなど、当時の作業状況を交えながら施工上工夫した点をご紹介します。

また、行政の技術者の方の研修でしたので、被災当時の長岡国道職員の対応、行政技術者の災害に対する考え方、被災時の地区住民との対応経験等を被災を経験した行政技術者として説明し、災害発生時の初期対応の大切さについて、改めて認識して頂きました。

国道291号被災地区の研修としては、長岡国道事務所の担当以外の箇所、埋没家屋のある木籠地区や住民の手掘りによる土木施設である中山隧道についても見学をされました。

参加された技術者の皆さんからは、被災時の状況、工法の工夫、復旧時の苦労などの質問があり、今回の研修が震災を風化させないよう、そして、災害発生時の各機関での災害対応の参考となればと考えています。

【保全対策官(維持・修繕担当)】



山古志トンネルの説明を受ける研修参加者



新宇賀地橋の説明を受ける研修参加者

編集・発行・お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所 調査課
TEL:0258-36-4551(代表) FAX:0258-33-7566



国土交通省北陸地方整備局

ふるさとの めくもり伝える 道づくり

長岡国道事務所

〒940-8512 長岡市中沢4-430-1
<http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/index.html>



ちよーこく 検索

ちよーこく 携帯版